

ユニバーサル ひょうご通信

だいごう
第115号



れいわねん
令和2(2020)年
がつにち
2月3日
はっこうひょうごけん
発行：兵庫県



「ユニバーサル」とは「普遍的な」「すべての人の」と訳され、「だれもが～しやすい」「だれもが～できる」という意味で使われています。『ユニバーサルひょうご』は「だれもが暮らしやすく、参加できる兵庫」の意味です。

もくじ

- ①第15回兵庫県障害者芸術・文化祭「美術工芸作品公募展」を開催します
- ②ひょうご障害者芸術活動支援センター開設記念セミナーを開催しました
- ③「ひょうご安全の日のつどい」で県立聴覚障害者情報センターがPR活動を行いました
- ④ひょうごユニバーサル社会づくり動画コンテストの作品を募集中です
- ⑤盲ろう者向け通訳・介助員養成講座 受講生募集について
- ⑥ピッコロシアターから音声ガイド付き公演のご案内

①第15回兵庫県障害者芸術・文化祭「美術工芸作品公募展」を開催します

第15回兵庫県障害者芸術・文化祭「美術工芸作品公募展」を開催します。魅力あふれる作品の数々を、ぜひご観賞ください。

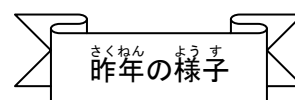
◆日 時 3月6日(金)～8日(日)
10時～17時30分

※最終日14時まで

◆会場 兵庫県立美術館

ギャラリー棟3階

◆展示作品 絵画、書道、写真、工芸・その他



②ひょうご障害者芸術活動支援センター開設記念セミナーを開催しました

「ひょうご障害者芸術文化活動支援センター」の開設を記念し、令和元年12月22日(日)にラッセホールにて記念セミナーを開催しました。自閉症ピアニストによるオープニング演奏・基調講演・シンポジウムを行い、兵庫県の障害者芸術のスタートとなる一日となりました。



③ 「ひょうご安全の日のつどい」で県立聴覚障害者情報センターがPR活動を行いました

震災から25年になりますが「ひょうご安全の日のつどい」が、1月17日（金）に神戸市中央区のHAT神戸なぎさ公園で開催されました。交流ひろばでは、県立聴覚障害者情報センターがブースを開設し、音を光や振動に変える日常生活用具の展示や、聴覚障害について理解を広めるPR活動を行いました。



また、昨年に続き今回も、ミニ手話講座を開催。参加者は自分の名前や「おはよう」「ありがとう」などの挨拶を手話で表現しました。「難しい」という声もありましたが「伝わったら嬉しい」「手話って楽しい」など様々な声が聞かれ、好評のうちに終了しました。

④ ひょうごユニバーサル社会づくり動画コンテストの作品を募集中です（2/28まで）

ユニバーサル社会への理解を深め、ユニバーサル社会について考えるきっかけになるような動画作品を募集しています。

◆ 応募作品のテーマ

「ユニバーサル社会づくりに関するもの」

参考までにいくつかの例を挙げますが、日頃のご活動の様子と伝えたいメッセージを入れた動画などでも結構です。気軽にご応募下さい！

(例1) 私たちにとってのユニバーサル社会とは

(例2) ユニバーサル社会実現のために、わたしたちができること

(例3) ユニバーサルな社会とは、障害者、外国人、

高齢者などみんなが社会参加すること。

多様な方が社会参加するために必要なことは？

◆ 表彰・賞金

最優秀賞	1作品	賞金5万円
優秀賞	1作品	賞金3万円
入賞	2作品	賞金1万円

表彰式はユニバーサル推進大会（7月開催予定）で行う予定です。

◆**応募資格**
個人・団体・企業、プロ・アマ、年齢は問わず、どなたでも参加可能

◆**応募期間**
2月28日（金）まで

◆**動画の仕様**（詳細はホームページ参照）
Youtube にアップロード可能なファイル形式で
15秒以上60秒以内の作品

◆**受賞作品の活用方法**
受賞作品は、兵庫県及び関係機関が発行する各種印刷媒体、
Webサイト、イベント等での上映など、広く普及啓発に
利用させていただきます。

詳しくは下記ページで
ご確認ください。
<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf10/universal/dougacontst.html>

◆**問合せ先**

兵庫県健康福祉部 障害福祉局 ユニバーサル推進課 社会参加支援班
電話：078-362-4379 FAX：078-362-9040
メール：universal@pref.hyogo.lg.jp

◆**⑤盲ろう者向け通訳・介助員養成講座 受講生募集について**

兵庫県では、全ての人が地域社会の一員として尊重され、互いに支え合い、一人ひとりが持てる力を
発揮して活動することができる「ユニバーサル社会」をめざしています。その一環として、盲ろう者の方向
けの通訳・介助員養成講座の受講生を募集します。どうぞ、ご参加ください。



- ◆**日時** 5月16日（土）～7月11日（土）
毎週土曜日10時～16時（全45時間）
- ◆**参加費** 無料 ※ただし資料教材費として5,000円必要
- ◆**場所** ひょうご盲ろう者支援センター ほか
- ◆**募集定員** 40名（定員超過の場合は選考）
- ◆**受講資格** ①県内在住・在学・在勤者で盲ろう者支援を学びたい方
(技術は問いません)
②修了後センターに登録し活動いただける方

◆**応募方法** ①氏名（ふりがな） ②郵便番号・住所 ③電話・FAX ④年齢・性別 ⑤職業
⑥聴覚障害、視覚障害のあり・なし

①～⑥をA4サイズ用紙にご記入の上、FAXまたは郵送でお申込みください。

◆**問合せ先** 〒650-0022 神戸市中央区元町通5-2-20-2階
ひょうご盲ろう者支援センター 盲ろう者向け通訳・介助員養成講座 係
電話：078-381-8814 FAX：078-381-8716

◆**締切** 4月13日（月）必着

⑥ピッコロシアターから音声ガイド付き公演のご案内

兵庫県立ピッコロ劇団では、視覚に障害のある方にも演劇を鑑賞していただけるよう、平成27年より<音声ガイド付き>上演を行っており、今回は「夢をみせてよ」を上演します。

舞台上の風景や登場人物の動き、表情などをピッコロ劇団の俳優・風太郎さんがライブ解説をしてくれます。

プロの俳優による音声ガイドを聞きながら、雰囲気たっぷりの舞台を楽しんでみませんか。

兵庫県立ピッコロ劇団 音声ガイド付き講演「夢をみせてよ」

- ◆日 時 2月29日(土) 11時～/16時～
- ◆会場 兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール
- ◆料金 一般4,500円 大学・専門学生3,000円、高校生以下2,500円
- ※移動介助者1名まで無料
- ◆締切 2月22日

※受信機台数に限りがあるため、必ず事前に申し込んでください。

◆お問い合わせ・お申込み

ピッコロ劇団「鑑賞サポート」
担当 古川・村田・新倉

電話 06-6426-1940 FAX 06-6426-1943

メール theater@hyogo-arts.or.jp

【ものがたり】

宝塚市の介助犬シンシアをはじめ、人に寄り添い助けてくれた、たくさんの有名な犬たち。犬がいて、人がいて、その数だけあるものがたり物語。

いろんな犬と人が生きる2020年、犬と人間のこと、お芝居にしてみました。



音声ガイド以外にも鑑賞サポートを行っています。
詳しくはホームページでご確認ください。

<http://www.hyogo-arts.or.jp/piccolo/event/detail/?id=289>

ユニバーサル社会
づくりに関するみな
さまからの情報を
募集しています。

【編集・発行】兵庫県健康福祉部障害福祉局ユニバーサル推進課

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10番1号

TEL:078(362)4379 FAX:078(362)9040

メール:universal@pref.hyogo.lg.jp

総合指針HP

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf10/universal/documents/kaiteishishin.pdf>

